

SPORTident®製品ユーザーマニュアル（日本語訳 ver1.05）

Instructions for the organiser 運営者のための導入手引書



Revision date: 1998/12/10 更新日: 1998/12/10

Table of contents 目次

- | | | |
|------|---|---------------------------------------|
| 1. | Introduction | 導入編 |
| 2. | Preconditions | 必須条件 |
| 2.1. | Common issues | 一般的な問題点について |
| 2.2. | Event software | 大会運営用のソフトウェアについて |
| 3. | The SPORTident equipment | SPORTident システムの機材 |
| 4. | Preparing SI stations - putting out the controls for the competition | SI ステーションの準備 - 大会用コントロールを実際に準備するにあたって |

1. Introduction 導入編

この文書は、SPORTident Manager (SIManager)のオンラインヘルプでは説明しきれない内容について、解説するためのものです。オリエンテーリングの大会運営者がSPORTident製品を使いこなすための助けになることでしょう。この文書は一般的なオリエンテーリング大会の運営については触れておらず、あくまでSIManagerのオンラインヘルプでは説明できない内容についてSPORTident製品の使用方法を解説したものです。また、SIManagerの導入について解説するものでもありませんので、もし必要ならSIManagerのオンラインヘルプを参照してください。

この文書は、SPORTident製品の使用方法を解説するため、Peter Fritschy(Bern for the Swiss O organisers)によって執筆されたものです。

この文書に関して、ぜひ直接質問やご意見を以下までお寄せください。

Dipl.-Inf. Stephan Krämer
SPORTident electronic punching Software Manager
Orienteering event software and services
Brinkmannstr. 21
D-95666 Mitterteich
Tel. +49 9633/91210 Fax +49 9633/91211
EMail: StKraemer@sportsoftware.de
URL: <http://www.sportsoftware.de/>

この手引きは以下のバージョンのソフトウェア及びハードウェアに対応するものです。

SPORTident Manager V.8.40
SPORTident Hardware der Version 3: BSM3, BSF3

Mitterteich, December 1998

2. Preconditions 必須条件

2.1. Common issues 一般的な問題点について

近年の電子技術の急速な進歩により、従来の人手に頼った方法ではない新しい方法を使うことができるようになった。

これらの電子技術はよりユーザに身近になり、技術音痴のあなたでも使いこなせるようになってきています。にもかかわらず、さまざまな問題を解決するには依然としてこのようなノウハウが必要です。しかしながら、このような PC ハードウェア・ソフトウェアの知識を十分備えた人が、オリエンテーリングクラブのメンバーに通常一人や二人はいるものです。SPORTident 製品を使いこなすには、そのような人が最適です。

その方は、PC 及び SPORTident 製品のハードウェア、ソフトウェア、準備作業、運用すべてにわたって責任をもって担当する必要があります。準備段階から大会当日に至るまでどのようなトラブルが発生しようとも対処できることが必要でしょう。（もちろん何も起こらないに越したことはないのですが）

2.2. Event software 大会運営用のソフトウェアについて

SPORTident 製品はどのようなオリエンテーリング大会運営用ソフトによっても利用できます。このアプリケーションソフトには SI カードの読み取り、各区間タイムの計算を機能として備えている必要があります。また、SI カードを読み取るには、SI master station に接続する適切なインターフェースが必要です。もしくは、SIManager のインターフェースファイルをインポートする機能をもってこれに替えることもできます。（[SIManager - Read SI cards の項を参照してください](#)）。

大会当日を迎えるまでに解決すべき問題点が多々あると思われませんが、このような点についてはそのアプリケーションソフトのドキュメントによって説明されるべきです。

このようなソフトの中で SPORTident 製品開発者自身が作成したアプリケーションソフトは最もよく知られており、また実際に使用することも可能です。また、これに関する解説書も作成されています。

これらの詳細については、作者まで直接お問い合わせください。

3. The SPORTident equipment SPORTident システムの機材

SPORTident システムをレンタルする場合、事前に正確な必要数量を把握するようにします。そうすれば期限内に確実に届けられます。以下にシステムを使用する場合のチェックリストを示します。

- ・ SI カードの読み取り、SI コントロールステーション操作に使用する SI マスターステーション BSM3
- ・ マスターステーションと同数の 9V 電源ユニット
- ・ SI ステーションを設定するときに使用する連結棒 (2 本)
- ・ SI コントロールステーション (コントロール記号は 31 以降を割り当てます)
その他の、クリア・チェック・デモ・スタート・ゴール用のステーション (事前に割り当てをしておきます)
予備のステーション
- ・ 必要数の SI カード
- ・ SI ステーションの電源投入用の磁石
- ・ SI ステーションのバッテリー交換に使用するドライバー
- ・ SI ステーションをパンチ台に固定するためのドライバー
- ・ ラベル、マジック、テープ、はさみ (番号を訂正や、予備のユニットを使うときのため)

もちろん、パンチ台も確認しておく必要があります。

- ・ 正しいコントロール記号が付けられているか？ (スタート、ゴールユニットも確認)
- ・ SI ユニットとパンチ (予備に使用) がきちんと固定されているか？

SI システムをレンタルする場合、お試しセットを事前に入手することも可能です。

PC configuration PC の設定について

使用する PC には SPORTident Manager (SIManager) がインストールされている必要があります。

Verifying SI master station function マスターステーションの機能を実際に試してみる

1. SI マスターステーションをパソコンのシリアルポートに接続する。
2. SI マスターステーションに電源を接続しオンにする。この際に、ブザーが鳴ると同時に、黄色ランプが点灯することを確認してください。
3. 「SI card の読み取り」を選択します。

SIManager の画面で、緑ランプが点灯すれば正常に動作しています。

もし、「interface not ready」 「SI station not ready」などのエラーメッセージが表示された場合、シリアルポートの設定を再度確認してください。

シリアルポートが複数ある場合 COM1、COM2 のどちらに接続しているかを確認します。また、その他のシリアルポートの設定が 4800bps、データビット 8bit、パリティなし、フロー制御なしとなっているかを確認し、必要があれば設定を変更します。この場合、パソコンを再起動しないと設定が反映されない場合があります。また、コネクタがきちんとささっているかを確認してください

通常は COM2 を使用しますが、ノートパソコンでは (シリアルマウスが接続されていない場合) COM1 となっていることがあります。

> 訳者注 :

外付けのポートや USB 変換コネクタを使用する場合は COM ポート番号が自動的に変わる場合があるので、接続する COM ポート番号を、「コントロールパネル - システムのプロパティ - デバイスマネージャ」で確認します。

4. Preparing SI stations - putting out the controls for the competition

SI ステーションの準備 – 大会用コントロールを実際に準備するにあたって

実際に使用する SI ステーションの設定と準備は、できる限り直前に行うようにします。設定を行った後、SI ステーションは電源 ON になり、省電力（スタンバイ）モードに入ります。設定された時刻に電源が自動的に入り、通常のアクティブモードで動作します。同様に、設定された時刻になると電源が切れます。

以上の SI ステーションの設定はすべて同じ PC で行うようにしてください。また、一度設定を行った後、大会運営中に設定のやり直しをできる限りしないようにしてください。

PC の準備

- ・準備（SI マスターステーションの接続と電源 ON）
- ・SIManager を設定: 適当な名前をつけて新規イベントを作成する。
- ・作成した新規イベントを選択する。
- ・PC の内部時計を電波時計に合わせる。

SI ステーションは多機能ユニットとなっており、クリア、チェック、スタート、フィニッシュ、通常のコントロール、と目的に応じて設定することができます。スタンバイモードにおいても電池は消耗してしまうため、実際に使用する SI ステーションの設定と準備は、できる限り直前に行うようにします。

通常のコントロールに使用する SI ステーションは、設置直前に設定を行うようにします。大会当日の早朝か、前日に行うのがよいでしょう。また、泥棒される危険がある場合は遅ければ遅いほどよいでしょう。

電源 ON 時刻の設定

SI ステーションが、正しい場所に設置され、動作しているかどうかを確認するために、電源 ON 時刻は大会前のコントロール確認に間に合うように設定します。大会当日の早朝に設置を行う場合、設置する人がコントロール確認もすることができます。前日に設置を行う場合、当日早朝に確認を行わねばなりません。遅くとも 1 時間前には確認が完了している必要があります。

電源 OFF 時刻の設定

通常、電源 OFF 時刻は最終スタート時刻 + 最大競技時間（一般に 150 分または優勝時間の 2 倍）に設定します。

コントロールユニットの設定

ここでは最終コントロールを除いて、すべてのコントロールユニットの設定を行います。これには前述の泥棒の危険があり、設置が直前となるコントロールも含まれます。 [SIManager - Prepare SI stations](#) を参照してください。

SIManager で、メニューから SI stations Prepare を選択します。時計合わせがまだ済んでいないようであれば、PC 内蔵時計を合わせます。電源 ON 時刻、電源 OFF 時刻を入力します。Signal: は両方を選択します。Station type: は、control を選択し、コントロールコードの初期値（通常は 31）を入力します。Clear backup memory. を選択します。

連結棒をマスターステーションの穴に通し、磁石でなぞり電源を入れます。以上で SI ステーション設定の準備が完了です。

- ・SI ステーションを磁石でなぞり、一時的に電源を入れます。（3 分間 ON になります）
- ・コントロールコードを画面と見比べて確認します。
- ・SI ステーションを、連結棒を通してマスターステーションの上に向かい合うように乗せます。
- ・Write ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。
- ・設定が始まります。ステータスバーを確認してください。もし、ステータスバーが反応しない場合は、SI ステーションの電源を入れ忘れたか、3 分を過ぎて自動的に OFF となっています。（SI station not ready エラーメッセージが出るまで待ち、もう一度やり直してください。）
- ・Current contents とメッセージを確認します。
- ・電池を確認します。メーターが 100% 以上になっているステーションは使用しないでください。これについては、後述します。
- ・ステーションを取り外し、次のステーションの設定に移ります。SIManager では自動的にコントロールコードが順番に 1 つずつ増えていきます。コントロールコードが欠番となっていたり、同一コードを 2 つ以上設定したりする場合は注意してください。

SIステーションの設定が終了したら、ログファイルを確認します。メニューから Event Select を選択し、イベント番号を確認します。イベント番号が3の場合、SIManagerのインストールフォルダの中にSIWK0003というフォルダを参照します(イベント番号とフォルダの下4桁が対応します)。このフォルダ内のSIMANLOG.TXTをメモ帳などのエディタで開き、コントロールコード、電源ON時刻、電源OFF時刻、電池の残量を確認します。

電池残量が100%以上の場合、電池を交換する必要があります。

(Protocolメニューから上記のデータを画面で確認することもできます)

電池残量が100%以上のステーション

これらのステーションは、大会当日動作する保証はありません。他の予備のステーションを使用するか、電池を交換して使用してください。

まず、メニューから Prepare SI stations を選択し、Turn off ボタンを押して、電源をOFFにします。もし予備のステーションがあれば、このユニットに(電池×)印をつけ、予備のステーションを代わりに設定します。または、電池を交換します。

- ・ステーションのカバーを外し、電池を取り外します。
- ・カバーを取り付け、慎重にドライバーで締め付けます。この際に、パッキンの納まり具合と電池のケーブルが挟まっていないか確認してください。
- ・ステーションを磁石でなぞって電源を入れ、マスターステーションにセットします。
- ・メニューから、Prepare SI stations -New batteries を選択し、適切な値を設定します。以上でステーションが使用可能になります。

コントロールのパンチを確認する

コントロールのパンチを確認するには、SIカードを準備する必要があります。SIManagerのメニューから SI cards Clear を選択し、スタート番号を空白にして、SIカードをクリアします。SIカードはその固有番号で設定されます。

コントロール確認のスタッフが戻ってきたら、使用したSIカードを読み取り、スプリットタイムを出力し、各スタッフがこれを確認します。

- ・すべてのコントロールコードが正しいか。
- ・通過時刻に異常はないか。

通常、コントロールコードの入れ違いは、設置の際の入れ違いであることが多いので、急いでコントロールを設置しなおす必要があります。

スタート/フィニッシュステーションの設定

スタート用のステーション(クリア、チェック、スタート)、フィニッシュステーション(フィニッシュタイム計測用)、最終コントロール、デモ用のコントロールは、できる限りスタート開始時刻の直前に行います。通常、スタート開始1時間前で十分でしょう。電源ON時刻は30分前、電源OFF時刻はコントロールステーションと同じに設定します。スタートステーションは、スタート終了時刻に電源OFFするようにしても構いません。

PC内蔵時計が大幅にずれている可能性があるため、もう一度電波時計に時計を合わせます。

すべてのステーションをそれぞれ目的に応じた設定にします。詳しくはオンラインヘルプを参照してください。

これらのステーションにも、コントロール確認が必要です。フィニッシュステーションやスタートステーションは以前のデータを上書きしてしまうため、それぞれ別にSIカードを用意する必要があります。

スタートには予備のステーションを必ず用意してください。また、予備のステーションが必要になったら、その都度設定をしてステーションを用意します。

ログファイルで、設定の確認を行います。

このドキュメントは、Organiser's handbook for SPORTident / SI Manager V.8.40 を日本語訳したものです。

特に複製や利用に関しての制限は設けませんが、この日本語訳ドキュメントを改良された場合、その他ドキュメント内容についてのご意見ご指摘等がございましたら、訳者までご一報くだされば幸いです。

日本語訳ドキュメントの最新版は <http://homepage1.nifty.com/s-abe/> にて入手できます。

なお、訳者はこのドキュメントを利用した事によって生じた損害について、責任を負いません。

原文(英語)ファイル“si84_eng.doc”およびSI Manager V.8.40は、SPORTident社ホームページ、<http://www.sportident.se> より入手できます。ご覧になることをお勧めいたします。